

産業建設分科会



3月12日
(午前)

3月12日
(午後)

議案第3号 令和8年度 鈴鹿市 一般会計予算

市内中小ものづくり企業に対する支援

○モノづくり元気企業支援事業費 344万円

【概要】 モノづくり元気企業支援事業費補助として、市内企業が行う研究開発・事業展開を支援し、高等教育機関、研究機関などと協働して、新技術や新製品の開発、既存製品の改良をする事業に対して、経費の1/2を補助するもの。また、SUZUKAモノづくり企業応援事業費として、企業展示会などに鈴鹿市が代表者として出展申し込みを行い、共同出展する市内中小ものづくり企業に支援するもの。

質疑 事業の詳細は。

答弁 SUZUKAモノづくり企業応援事業は令和8年度に初めて実施する事業で、11月11日から13日に名古屋市ポートメッセなごやで開催される日本最大級のビジネス展示会に、本市が代表者として出展申し込みを行い、共同出展を希望する中小ものづくり企業に対して支援を行うものである。参加企業には1社当たり5万円を負担していただき、共同出展企業数は3社を予定している。また、本市の企業誘致のためのブースも同じ展示ブース内に設置する予定である。この事業の効果は、幅広い出展者や来場者による同業種・異業種間の交流を通じてビジネスチャンスの創出や販路拡大が期待される。

さらに、前年度から継続して予算計上しているモノづくり元気企業支援事業費補助も実施している。大学などの高等教育機関と共同研究などを行った上で新規開発について、補助上限190万円の通常枠と上限30万円のトライアル枠として募集し、補助を行うものである。

生活道路を維持するために修繕を実施

○舗装事業費 4億6,541万3,000円

【概要】 舗装維持管理計画に基づく計画的な修繕・更新、緊急性などの投資効果を考慮した舗装の新設・改良工事および自治会などからの要望により生活道路の舗装整備を行うもの。

質疑 舗装の維持管理指数に基づいて、必要な舗装補修費用などが年次予算で確保されているのか。

答弁 MCI（エムシーアイ：舗装の維持管理指数）については市内の幹線道路を対象に調査を行い、MCIが3以下の箇所から順次予算を付けて修繕を行っているが、幹線道路以外の道路や、自治会からの要望なども含めると予算はその時々で変化する状況である。

質疑 MCI調査の頻度。また、道路の維持管理を良好に行うための取り組み方法は。

答弁 MCIの調査については、5年に1回の頻度で行っており、調査結果を基に舗装維持管理計画を策定し、劣化が激しい路線から集中的に工事を行っている。また、土木部の職員が月に1回道路パトロールを実施し、その際得られた情報を基に劣化状況を把握し、適時修繕を行っている。